

# 漁海況月報

No. 12

平成18年12月1日

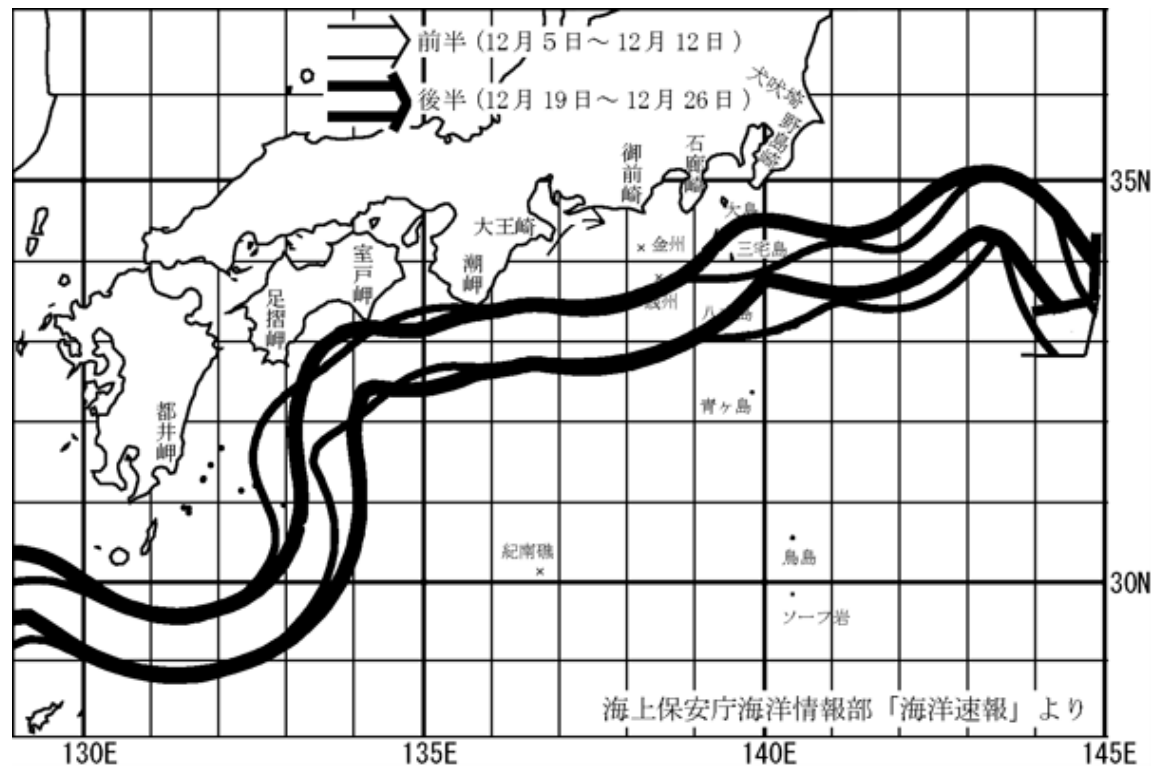
～12月31日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-1815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



## 【黒潮流路】

前半、黒潮は九州東岸の都井岬沖で蛇行し、四国から潮岬にかけて接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 33° N を東進し、八丈島のやや北を通り、房総半島から大きく離岸して東方へ流れた (N型流路)。

後半には、黒潮は九州東岸の蛇行が東方へ拡大し、九州東岸から四国の足摺岬沖にかけて離岸した。潮岬に接岸傾向で流れた後、遠州灘沖 33° N を東進し、駿河湾沖から北東に向かい、三宅島付近を通り、房総半島沖を大きく離岸して東方へ流れた (N型流路)。伊豆諸島海域を小蛇行が通過し、同海域では前半に比べ 30 マイル以上接岸した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 14～19℃ 台、駿河湾東部では 14～18℃、西部では 11～18℃ 台で経過した。平年に比べ、地頭方では低め、駿河湾東部では中旬までやや低め、相模湾及び焼津では高め基調の平年並みであった。

上旬には熊野灘から遠州灘西方にかけて 21℃ 台の暖水が波及し、中旬及び下旬後半には伊豆諸島北部から駿河湾沖に 20～21℃ 台の暖水が波及した。

## 【竿釣近海カツオ】

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚げはなかった。

竿釣近海カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚 隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
18年12月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
18年12月計	0	0	-	-
17年12月計	1	2	0.6	327
16年12月計	32	16	2.0	749

## 【定置網】

平成18年12月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は128トンド、昭和57年以降で最も少ない水揚量であった。操業がなかった赤石と谷津を除く1漁場当たり水揚量21.3トンは前年28.4トンの75%、平年値(昭和57～平成17年)34.6トンの62%であった。

魚種別漁獲量は、①スルメイカ30.1トン(A:前年同月比92%、B:平年同月比133%)②メアジ27.4トン(A:1876%、B:418%)③サバ類16.4トン(A:15%、B:45%)④マアジ13.2トン(A:41%、B:79%)⑤フグ類6.0トン(A:201%、B:123%)の順であった。スルメイカは北川を中心に入網し、12月19日に16トンと集中的に入網した。外套背長のモードは27cmであった。メアジは昭和62年以降で12月として最も多く漁獲され、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは20cmであった。サバ類はゴマサバ主体で、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは33cmにみられた。マアジは川奈、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは24～25cmであった。フグ類はシロサバフグ主体で川奈、北川、伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは17cm、23cm、30cmにみられた。

定地水温の旬平均値(℃) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	17.7	18.3	18.0	17.1	17.3	17.3	14.6
	0.3	0.3	0.6	-0.9	-0.3	0.5	-1.1
中旬	16.8	17.0	16.5	16.3	15.9	16.4	13.3
	0.2	-0.1	0.1	-0.5	-0.7	0.3	-1.2
下旬	15.8	15.9	15.8	16.1	15.6	15.7	12.9
	0.1	-0.4	0.1	0.1	0.0	0.8	-0.8
月	16.7	17.0	16.7	16.5	16.3	16.4	13.6
	0.2	-0.1	0.3	-0.4	-0.3	0.5	-1.0

漁場別水揚量は、北川 63 トン（スルメイカ、サバ類、マアジ中心）、川奈 36 トン（メアジ、マアジ、フグ類中心）、富戸 12 トン（スルメイカ、サバ類中心）の順であった。

**[サバたもすくい棒受網]**

小川港に水揚げされたサバ類は 1,072 トンで、前月の水揚量（491 トン）を大きく上回った。漁場は三本及び三宅海域に形成され、ゴマサバがほとんどであったが、上旬及び下旬にはマサバがわずかに混獲され、0.7 トンが水揚げされた。水揚げされたゴマサバは、尾叉長 28～35cm の大きさの 2004 年級と思われるものがほとんどであった。マサバは尾叉長 31・32cm にモードがみられた。1kg 当たりの平均単価は 41 円で、前年同月の 35 円は上回ったものの、先月（49 円/kg）を下回った。

**小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量**

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成18年 上旬	305	4	11	27.7	三宅、三本
12月 中旬	656	6	22	29.8	三本
下旬	111	2	3	36.9	三本
計	1,072	12	36	29.8	-----
平成17年12月	86	2	4	21.5	三宅
平成16年12月	647	6	19	34.1	三宅、新島

**[サクラエビ船曳網]**

12 月の出漁日数は 7 日で、漁獲量は 255 トン、漁場は主に三保～焼津沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長 29mm にモードを持つ当歳エビと 41mm にモードを持つ 1 歳エビで構成された。

平成 18 年秋漁は 12 月 24 日が最終出漁日となり、出漁日数は 14 日（前年秋漁は 14 日）、漁獲量は 491 トン（同 457 トン）であった。

**サクラエビ水揚量**

期 間	水揚量 (トン)	日数	1 日 1 か統当り (kg)	漁 場
平成 18 年 12 月 上旬	55	2	平均 461	三保～焼津沖
中旬	152	4	平均 635	三保～焼津沖
下旬	47	1	平均 779	三保～焼津沖
平成 18 年 12 月 計	255	7	平均 606	—
平成 17 年 12 月 計	180	5	平均 601	三保～焼津沖
平成 16 年 12 月 計	133	7	平均 316	焼津～相良沖

**[シラス船曳網]**

12 月における 1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾が 58kg、遠州灘が 98kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 78kg と前年同期（85kg）の 0.9 倍、平年同期（過去 5 か年平均：95kg）の 0.8 倍と前年同期、平年同期ともに下回った。また、総水揚量は 80.4 トンで前年同期（44.5 トン）の 1.8 倍と上回り、平年同期（76.5 トン）とほぼ同じであった。平均単価は 1,144 円/kg と平年同期（1,090 円/kg）を上回った。

**シラス水揚量（主要 6 港）**

漁 港	水揚量 (ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	3.7	6	39	96	794
舞 阪	18.3	16	168	109	917
福 田	17.6	10	189	93	1,035
御前崎	10.1	10	111	91	1,384
吉 田	19.8	12	302	66	1,090
静 岡	10.9	11	224	49	1,700
平成18年12月計	80.4	65	1,033	78	1,144
平成17年12月計	44.5	44	522	85	1,018
平成16年12月計	71.7	66	1,107	65	1,850

**[まき網]**

マイワシの水揚げは、小川港では 9.0 トンで平年同期（40.4 トン）の 22%、沼津港では 12.2 トンで平年同期（43.5 トン）の 28% で低調に推移した。また、伊東港では 0.2 トン（平年同期は 179 トン）、静岡港では水揚げがなかった。

注）平年同期：過去 5 か年平均

**[調査船の動向]**

富 士 丸

11 月 2 日 ～ 12 月 6 日 第 5 次南方カツオ航海調査

駿 河 丸

12 月 5 日 ～ 12 月 7 日 地先定線観測（駿河湾、遠州灘）（3 日間）  
 12 月 11 日 ～ 12 月 11 日 公共用水域水質調査（駿河湾）（1 日間）  
 12 月 12 日 ～ 12 月 13 日 サクラエビ調査（駿河湾）（2 日間）  
 12 月 14 日 ～ 12 月 15 日 マリンロボ調査（2,3 号）（2 日間）  
 12 月 18 日 ～ 12 月 18 日 マリンロボ調査（3 号基）（1 日間）  
 12 月 19 日 ～ 12 月 19 日 黒潮急潮調査（駿河湾）（1 日間）  
 12 月 21 日 ～ 12 月 22 日 サバ標識放流調査（駿河湾）（2 日間）

静岡県水産試験場のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>  
 右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA による海面の水温分布画像を見ることができます。

